

平成18年度事業報告書

平成18年4月1日

平成19年3月31日

日本経済は平成18年11月に58カ月連続の景気拡大を記録し、高度成長期の「いざなぎ景気」を抜いて戦後最長となった。また、ユーロを筆頭に各国通貨に対して円安が進んだ結果、輸出産業を中心に企業業績は増益基調で推移し、民需主導による景気回復の年となった。一方、個人消費については、緩やかな回復基調にあると言われるものの、力強さに欠け景気回復を実感するまでの回復には至っていない。

酪農乳業界は引き続き飲用牛乳の消費が低迷しており、牛乳・乳製品の消費拡大に向けたさまざまな取り組みが実施されているが、依然飲用牛乳の消費低迷には歯止めがかかっていない。このような状況下で、乳容器・機器業界は、原材料価格の高騰に伴うコストアップを、客先へ十分転嫁できず原料高、製品安の厳しい経営環境が続いている。しかも、牛乳消費の拡大と衛生性の向上のために、乳容器・機器に対するユーザーの品質要求はさらに高まっている。

こうしたなか当協会は平成18年度事業計画に基づき、部会活動を中心に活動を行ない、乳機器部会主催による技術セミナーの開催、ながらく懸案であった「乳等の樹脂ふたに関する自主基準」の制定なども行なうことができた。またQ&A小委員会ではQ&A集第3集の検討、厚生労働省担当官との勉強会、厚生労働科学研究への参画など、積極的な取り組みで、食品の安心・安全確保を基軸とした協会事業を推進した。

1. 部会、審議会、小委員会等の事業

多様化する課題への対応にあたっては合同部会の開催など、部会間の垣根をはらい、部会活動の活性化に努めた。

- (1) コップ型容器部会...独自の活動はなかったが、他部会と連携を図り衛生・安全に関する情報の普及に努めた。
- (2) 紙容器部会...一昨年より引き続き「乳等の容器包装の抗接着剤に関する自主基準」の残留溶剤試験方法見直しを含めた改訂案を検討した。抗接着剤の試験方法についてはワーキンググループで、社団法人日本食品衛生協会と試験方法を検討した。また、「乳等の紙容器に関する自主基準」及び「乳等の紙容器付帯品/付属品(器具)に関する自主基準」についても見直し作業を開始し、3分割されている紙容器の自主基準を一本化するべく、検討を開始した。
- (3) 乳栓部会...平成18年8月に、それまでの「乳等のガラス瓶用の紙のふたに関する自主基準」を改訂するとともに、新たに「乳等の樹脂ふたに関する自主基準」を制定した。
- (4) 乳機器部会...協会内外の講師による全会員を対象にした乳機器技術セミナーを2度にわたり開催した。大変好評だった。

- (5) 新容器・新素材審議会... P E T樹脂の牛乳等への使用が認可されることに対する自主基準対応への検討を開始した。
- (6) Q & A小委員会...乳等省令に係る器具・容器包装についてのQ & A集(第3集)の作成を進めた。Q & A、厚生労働科学研究、インキなどの各ワーキンググループが各部会と連携しながら活動を行なった。

2 . 官公庁・関係団体関連事業

(1) 厚生労働省

行政の動向を注視し、情報収集を行ない会員への伝達を図った。また、厚生労働省の担当官との勉強会を開催した。

平成 16 年度から 3 年間の厚生労働科学研究事業である「食品用器具及び乳幼児用玩具の安全性確保に関する研究」の六つの分担研究のうち「乳等用器具・容器包装の規格基準に関する研究」と「紙製器具・容器包装の安全性確保に関する研究」の 2 件について厚科研ワーキンググループ委員及び事務局が研究協力者として活動した。

(2) 関係団体等

社団法人日本乳業協会、ポリオレフィン等衛生協議会、日本製紙連合会、日本印刷インキ工業会、日本印刷産業連合会等の団体との連携を図り、情報交換に努めた。

全国飲用牛乳公正取引協議会の専門委員を努める等、飲用牛乳等の表示の適正化に努めた。

社団法人日本包装技術協会が主催した東京国際包装展に協賛した。また、容器包装リサイクルに関する情報収集に努めた。

3 . 広報及び教育事業

(1) ホームページ...ホームページによる情報公開を拡充するため、協会だより掲載のコラム及び予定表を逐次更新した。一昨年 9 月のリニューアル以来アクセス件数が 18,000 件を突破した。

(2) 協会だよりの発行...会員への情報伝達と親睦を図るため、部会活動の報告などを中心に平成 18 年度は隔月、計 6 回発行した。

(3) セミナー・活動報告会...会員のスキルアップと情報の共有化を図るため、協会内外の講師による勉強会、説明会を開催した。

4 . 会員数

平成 18 年度正会員は、樹脂蓋分科会の活動に参加していたウイストン株式会社が入会し 43 社から 1 社増加の 44 社となった。賛助会員はフロンティア株式会社が入会し 5 社から 1 社増加の 6 社となった。

5. 会議等の開催状況

(1)	通常総会 平成 18 年 5 月 26 日	1 回
(2)	理事会	3 回
(3)	事業企画運営委員会	2 回
(4)	新容器・新素材審議会	1 回
(5)	関西ブロック会議	1 回
(6)	Q & A 小委員会関連会議・説明会等	1 8 回
	(内インキワーキンググループ	7 回)
(7)	厚生労働科学研究ワーキンググループ	1 7 回
(8)	乳栓部会	1 回
(9)	紙容器部会	1 1 回
(1 0)	紙容器・紙コップ合同部会	1 回
(1 1)	コップ型容器部会	1 回
(1 2)	乳機器部会	2 回

以上